



● 笠間市 家族で楽しむDIY

11



一軒家のリフォーム

Kasama City

東京出身で埼玉県に住んでいたOさん一家。Oさんの田舎暮らしへの想いから、家族全員で移住を決め、2021年に笠間市で空き家を購入した。現在は、農業のお仕事をしながら自然に囲まれた生活を満喫している。奥様は街で働いており、車ですぐに街に出れる程よい距離感も魅力も良いところだとか。そして、物件のリノベーションは水回り以外のほぼ全てを家族でのDIYで遂行。「とても楽しかった」と笑顔を見せながら話すOさんに、空き家探しの過程やDIYでリノベーションに取り組むメリットについてお話を伺った。

Q. 今回、茨城県へ移住するに至った経緯を教えてください。

昔から田舎での生活には憧れがあり、若い頃にも仕事を辞めて長野県の八ヶ岳に行き、住み込みで農業に動んだことがあるほどでした。都会での生活や仕事の喧騒から離れて田舎で暮らしたいという思いが大きくなり、移住を決めました。





Q. 物件探しはどのようにされましたか。

最初はインターネットを中心に探して内覧などもしていましたが、県外からだとも距離もあって動きづらかったのもので、まずはひたちなか市に家を借り、家族全員で仕事を辞めて引っ越しました。県内に拠点を移してフットワークが軽くなった中で「空き家バンク」という仕組みがあったことを思い出し、そちらからも物件探しをした結果この家に出会いました。

Q. 購入の決め手は何でしたか。

初めて物件を見に来た日、国道から一本道に入るとその先にこの家が見えてきて、「田舎感」のあるその景色にとっても惹かれました。妻はとなり近所との距離が離れているところがいいと言っていました。また玄関から入ってすぐある一本階段が趣深く、古い家だからこそそのものですし印象的でしたね。

Q. リノベーションにはどのように取り組まれましたか？

台所・洗面所・トイレといった水回りは業者をお願いしましたが、それ以外は全て自分たちでDIYをしました。家族みんな仕事を辞めて移住したので時間もありませんでした。経験はありませんでしたが、動画サイトで学びながら試行錯誤して、壁や床を貼り直したり、家族それぞれのプライバシーを確保するため壁を新しく作って間取りを変えたりしました。



Q. かなり力を注いでDIYされたんですね。実際にリノベーションをされていかがでしたか？

まず何よりも面白かったです。東京で働くよりもものづくりはずっと楽しく、自分以上に楽しんでいた息子はその後、看板などをつくる仕事に就職したほどです。さらに自分たちでDIYをすることのメリットは、また自分たちで直せるところだと思っています。後から不具合が出ることもありますが、一度DIYをした経験から、その都度自分たちで修正できるようになっていて、実際に直しながら暮らしています。

Q. リノベーションにかかった費用についてお聞かせください。

水回りのリフォームで150万円くらい、DIYの材料費で50万円くらいで合わせて200万円ほどです。当初見込んでいた額と同じくらいです。ありがたいことに埼玉県の家が売れ、それも資金になりました。当初、移住に関わる補助金があるとは思っておらず、調べた際に初めて知りました。おかげさまで物件契約時に20万円、また回収費用として50万円の補助を受けました。



Q.この家、この地域での暮らしはいかがでしょう
か？

田舎の環境を楽しんでいます。静かな時は本当に、これまで経験したことのない透き通った静けさと穏やかな空間があるんです。田舎の醍醐味でもあります。自然を贅沢に味わえて旅行をする必要がないですね。毎日見る風景に山があって青空があって、溶けてしまいます。一方で、車で少し走れば街に出れるという点は妻の安心感にもなっているようです。また、この辺りはみなさん本当に純朴な方が多く、引っ越してきた当初から寛容に暖かく迎え入れてくれました。高齢になってからの移住になった母にとっても、生活の張り合いになっていると思います。

家の敷地の広さも魅力です。家庭菜園もできますし駐車場も広い。おかげで埼玉に住んでいた頃よりも都会の友人がよく遊びにくるようにもなりました。これまでより家に人を迎え入れられるようになりましたね。



Q. 空き家を検討している方々へのアドバイスは
ありますか？

「空き家バンク」の利用の際には自治体指定の不動産業者の対応になると思いますが、場合によっては契約まで思っていたよりも時間がかかることもあると思うので、その辺りを頭に入れておくの良いかもしれません。

また、田舎で空き家を購入する際は、物件だけでなくその周りを見るのが大事だと思います。自分たちは住み始めてから気づいたことも多かったですね。